



特集

平成27年度 生産指導課始動

畜産酪農部



®林風舎

第2回

タマナ

井戸

(春と修羅 第三集七八)

こゝから草削^{ホウ}をかついで行って
玉菜畑へ飛び込めば
宗教ではない体育でもない
何か仕事の推進力と風や陽ざしの混合物
熱く酸っぱい阿片^{アヘン}のために
二時間半がたちまち過ぎる
そいつが醒めて
まはりが白い光の網で消されると
ぼくはこゝまで戻って来て
水をごくごく呑むのである

「玉菜(タマナ)」は、アブラナ科の植物。
春、黄色の十字架状の花を付ける。
花茎が大きく膨れるカリフラワーや
ブロッコリーなどは近縁種。
草削^{ホウ}は、軽便な除草ぐわ、草削り器具。
英名はホオウ。
熱く酸っぱい阿片^{アヘン}とは、実際のアヘンで
はなく、陽光、風、汗などの作業中の快
感の例え。
二時間半とは、実習時間の区切り。
「白い光の網」は、すき間なく、さんさん
と大地に降り注ぐ太陽からの光を、光
の網と表現か。

参考資料:岩手日報社発行「賢治のイーハトーブ植物園」より

純情産地発 クララー KLARA vol.791 2015.6

みんなの力で!



がんばろう!岩手
純情産地いわて

contents

賢治とイーハトーブの野菜たち.....	02	みんなの分教場.....	07
特集 平成27年度 生産指導課始動.....	03	イーハトーブの担い手便り.....	08
食から健康 ドクターズレストラン.....	06	いわて純情むすめ卒業.....	09
		NEWS ワイドアングル.....	10

タイトルのKlara (クララー) は、宮沢賢治の手帳にのしるされて
いる言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。
全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという
願いが込められています。



やる気はあるが今お悩み中の生産者、JAとして育てたい生産者、JAの畜産酪農のスペシャリストとして育てたい職員（自薦他薦含め）等の情報をお願いいたします。JAグループの一員として、生産指導課が有効に機能しJAとの連携による高いレベルでの指導業務を確立するためには、JA内部（本所・営農センター・指導センター）並びに生産者との連携を密にとり情報をしっかりと共有することが不可欠ですので、情報の伝達方法等も併せてお願いいたします。

5. JA営農部署へのお願い

■県内畜産酪農を取り巻く現状

	平成26年度 (A)	平成21年度 (B)	平成16年度 (C)	A/C	B/C
和牛子牛市場 上場頭数(頭)※	20,799	25,965	24,419	85.2	106.3
和牛繁殖農家戸数(戸)	5,271	7,019	9,020	58.4	77.8
生乳受託販売実績(t)※	202,227	215,269	242,630	83.3	88.7
酪農家戸数(戸)※	933	1,171	1,502	62.1	78.0
肉用牛(肉用種) 肥育頭数(頭)	22,900	33,650	25,760	88.9	130.6
肉用牛(肉用種) 飼養戸数(戸)	312	600	603	51.7	99.5
養豚(頭)	450,200	437,500	395,700	113.8	110.6
養豚飼養戸数(戸)	123	154	208	59.1	74.0

※印:県本部実績より その他:農水省一畜産統計資料に基づく

1. 背景

畜産酪農を取り巻く生産人口は、国内人口の年齢構成に輪をかけて高齢化がすすんでおり、また経営規模においても零細規模・小規模・中規模・大規模・超大規模（メガファーム）と多岐に分かれています。例えば年配の方の零細規模であれば、生きがい対策としてアニマルセラピーの要素を含んだ経

営、中小規模であれば耕種作物との複合経営や兼業農家体制、大規模であれば専業による専門経営、超大規模であれば雇用を伴う法人化経営など、それぞれの経営規模により問題点が異なることから、生産者の課題解決に対し相談対応するにあたって、畜種特性と経営形態について熟知したスペシャリストが求められる時代になってきました。

一方で、国内におけるBSE発生以降に法制化された牛個体識別制度、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故等による事務処理が急増し、その処理に追われるようになったことが、生産現場における指導のスペシャリストの減少につながっています。

このような背景から、4月1日に生産指導課が誕生しました。

2. 目的

岩手県における畜産酪農生産基盤の縮小・減退に歯止めを掛け発展させるため、従来以上に生産現場に密着した業務をおこなひ、生産者の信頼を維持し、より効果的な生産基盤対策の実施を目的に活動します。

3. 生産指導課の概要

人員：獣医師4名（内1名は新岩手農協酪農指導センターに駐在）
所在：全農岩手県本部 畜産酪農部（岩手県産業会館ビル4F）
連絡先：019-626-8660

4. 業務内容

- (1) 酪農部門
平成26年度まで酪農課で実施していた指導業務の継承
- ① 農家巡回による指導（飼養管理・疾病予防・繁殖検診・乳質管理・経営管理・施設改善等）
② 酪農課との連携による乳質改善指導、乳房炎細菌検査
③ 全農ET研究所と連携した受精卵移植の実施
④ 北日本くみあい飼料と連携した配合飼料の推進・開発
⑤ 規模拡大農家・新規就農・TMRセンター・公共牧場等への支援
⑥ 酪農生産基盤対策の提案と実践
⑦ 研修会の企画・パンフレット作成等
- (2) 畜産部門
和牛改良センター業務の継承と新たな指導業務の開拓
- ① 和牛改良センターの飼養管理・衛生管理・繁殖管理
② 和牛繁殖農家における繁殖成績改善指導
③ 和牛繁殖生産基盤対策の提案と実践
- (3) 教育部門
① 農家巡回指導、研修会開催による担い手農家の育成
② 農協職員、普及員、人工授精師等との同行、研修による人材育成
③ 県外研修等による情報収集・提供、指導技術のレベルアップ

牧野管理・TMRセンター等の指導

受精卵移植・繁殖検診

JA全農いわて生産指導課

乳質指導・乳房炎予防

繁殖和牛管理指導

疾病予防

乳牛飼養管理指導

指導資料作成・研修会開催



みんなの分教場

営農対策部 営農技術課
技術主管
笹田 昭市

最近の気候変動と りんご栽培への影響

日平均気温の上昇が大きいのは、真夏の7月・8月よりも、冬の1月・2月・3月と、秋の9月・10月です。よくみると、最高気温よりも最低気温の方が高くなっているのが目立ちます。

表2は、盛岡での10月の月平均最低気温の10年ごとの平均です。

1994年までは7℃以下でしたが、2000年前後で7℃台に、2005年以降は8℃台まで高くなっています。

表3は、盛岡での最近10年間の月平

10月の最低気温が 高くなっている

年間の降水量に大きな変化は見られませんが、旬別降水量を見ると変化が見られています。表1は旬降水量の15年ごとの平均です。

4月上旬から中旬までは全県でいくらか少なくなっています。

5月下旬から6月中旬までは、沿岸部では変化は見られませんが、内陸部では、2000年以前は100mmを超えていましたが、2000年以降は70mm位とかなり少なくなっています。特に、2012年から、6月下旬まで降水量が少ない状況が3年続いています。

4月～6月の降水量が 少なくなっている

岩手県内の果樹園でも、地球温暖化の影響と思われる現象が見られるようになってきています。そこで、盛岡地方気象台のデータを詳しく見てみると、りんご栽培上で気になることが2つありま

秋田県鹿角市の桃が、2013年11月中旬の低温で障害を受け、翌春になって枯死が確認され大騒ぎとなりました。この時、りんごの幼木にも似たような障害が見られたとのこと。2013年には岩手県内のりんごでも同じような障害が発生してもおかしくない状況でした。

休眠の完了が遅れないようにするには、遅くまで枝が伸びないような栽培管理の徹底や、収穫時期を遅らせないよう

なかな花落葉せず休眠の完了時期が遅れた場合は、11月の低温による樹体障害(凍害)が発生する心配があります。

秋田県鹿角市の桃が、2013年11月中旬の低温で障害を受け、翌春になって枯死が確認され大騒ぎとなりました。この時、りんごの幼木にも似たような障害が見られたとのこと。2013年には岩手県内のりんごでも同じような障害が発生してもおかしくない状況でした。

枝が遅伸びしないように、施肥体系の改善や土の水分を維持する栽培方法の導入、灌水施設の整備等も考えていく必要があると思われます。

果実の生育に影響するだけでなく、枝の伸長が6月で止まらずに遅伸びして、7月からの花芽分化が遅れる心配もあります。また、最近改植が増えています

が、春に植栽した苗木の生育に乾燥の影響が出ています。

りんご栽培への影響と 対応策

(1) 5月から6月の降水量の減少について

均最低気温です。昨年は67℃でしたが、2010年は92℃、2013年は10℃とかなり高くなっていました。

【表3】盛岡での最近10年の
月平均最低気温 (℃)

年	10月
2005年	8.9
2006年	7.9
2007年	8.1
2008年	8.4
2009年	7.6
2010年	9.2
2011年	7.6
2012年	8.7
2013年	10.0
2014年	6.7

【表2】盛岡での月平均最低気温
(10年平均:℃)

年	10月
1924～1934	5.6
1935～1944	6.2
1945～1954	6.3
1955～1964	7.1
1965～1974	6.1
1975～1984	6.4
1985～1994	6.9
1995～2004	7.6
2005～2014	8.3
最高～最低	2.7

【表1】4月～6月の降水量の推移
◎旬降水量の15年ごとの平均 (mm)

	4月上旬～中旬			5月下旬～6月中旬		
	1970年 ～1984年	1985年 ～1999年	2000年 ～2014年	1970年 ～1984年	1985年 ～1999年	2000年 ～2014年
二戸	47.0	36.0	28.1	90.1	90.3	63.5
好摩	62.0	47.3	39.3	104.7	100.8	69.3
盛岡	59.6	55.3	44.1	105.2	109.5	71.7
紫波	73.6	55.0	43.3	102.6	121.8	76.9
北上	64.8	60.0	44.4	113.8	121.3	92.3
江刺	65.3	53.4	40.9	102.0	102.7	78.8
一関	81.2	65.3	45.0	105.7	122.4	98.7
内陸平均	64.8	53.2	40.7	103.4	109.8	78.7
大船渡	88.5	80.1	65.5	145.4	167.0	151.3
宮古	71.2	56.4	48.5	99.4	111.6	113.3
久慈	72.0	34.3	36.2	95.6	120.4	102.3
沿岸平均	77.2	56.9	50.1	113.5	133.0	122.3
総平均	68.5	54.3	43.5	106.5	116.8	91.8

※ 1970年～1984年のデータ(盛岡・大船渡・宮古以外は1976年～1984年)

食から健康

Doctor's restaurant

～ドクターズレストラン～



協力／ドクターズレストラン「Green*Green」盛岡市松園2-2-10 TEL.019-665-2345

自宅で作ってみましょう

料理監修／管理栄養士 臼井名津子

材料(2人分)

豚肉(細切れ)100g、片栗粉大さじ1、新ごぼう60g(約1/3本)、ししとう中4本、パプリカ(赤・黄)各20g、新玉ねぎ中1/4個、油大さじ1/2、【漬け汁…酢大さじ1.5、酒(水でも可)大さじ1/2、しょうゆ大さじ1強、砂糖大さじ1/4、ごま油大さじ1/2、好みでタカノツメ適量】

1 新ごぼうとパプリカは3cm長さの5mm幅に切り、新玉ねぎは薄くスライスしておく。

2 漬け汁の調味料を混ぜ合わせ、そこへ新玉ねぎを混ぜ合わせる。

3 フライパンに油を引いて中火で新ごぼうをさつと炒め、弱火にして蓋をする。途中、上下返ししながら10～15分蒸し焼

4 3にししとう、パプリカを加え、蓋をしてさらに5～10分弱火で蒸し焼きにする。

5 全体に火が通ったら2に4を加え、2時間以上味をなじませる。

6 豚肉に片栗粉をまぶし、沸騰したお湯で色が変わるまで茹で、氷水で冷やす。

7 器に豚肉を盛り、上から味のなじんだマリネと汁をかける。

枝豆ごはんにおかひじきの白和えも添え、デザートに甘夏みかんを付けると、ヘルシーで栄養バランス抜群の旬の献立になる(4品の総エネルギー…571kcal)。

旬の食材&意識して摂りたい栄養素

新ごぼう：初夏に収穫される若採りの新ごぼうは「夏ごぼう」とも呼ばれ、成長しきっていないため、柔らかく風味が良いのが特徴。ごぼうには水溶性、不溶性ともに食物繊維が多く含まれるため、便通の改善や大腸がん予防、血糖値の改善などに効果があると言われている。特に「イヌリン」という成分はカルシウムの吸収を促進したり、腸内細菌を増やすため免疫力の向上にも働く。

豚肉：豚肉にはビタミンB1が多く含まれ、糖質の代謝や疲労回復などに効果がある。夏に向けて屋外での力仕事が増えるとお飯や麺、甘い物を多く食べるようになりがち。それと同時にビタミンB1の消費量も増えるので、意識して豚肉を摂取したい。



●豚しゃぶと新ごぼうのマリネ
エネルギー 234kcal
たんぱく質 11.1g
脂質 13.3g
炭水化物 14.3g
塩分 1.3g

豚しゃぶと 新ごぼうのマリネ

マリネとは、フランス語で「漬ける」という意味の言葉。魚介類や肉、野菜などの食材を油、酢、酒などに漬け込むフランス料理の調理方法です。漬け汁は酢やレモン汁、ワイン、塩水などからも作られ、風味を良くするために油や香味野菜、香辛料を加えることが多く、日本の「南蛮漬け」もマリネに該当します。一般にはスペインやイタリアなど南欧の調理法として知られていますが、ペルーをはじめ中南米諸国でもマリネ料理はよく食べられています。下味がつくと同時に、食材を軟らかくし、風味も増す「マリネ」料理。旬の食材をどんどん漬けてみて「我が家のマリネ」にあなたも挑戦してみてください。

「農業生産と農産物販売の一元化」

農事組合法人大興寺農産〔花巻市〕

集落営農を推進するために法人化を選択

農事組合法人大興寺農産が所在している花巻市石鳥谷町八日市地区は、水稲や麦豆類を柱とした水田地帯で花巻温泉郷に隣接しています。同法人は、花巻市石鳥谷総合支所から南西に約4km、大興寺及び松林寺の農業集落をエリアにしており、米の価格低迷から経営安定対策、ラシ対策を活用することや労働力の高齢化が進

む中で、集落営農を推進するために平成27年2月に設立されました。

法人の構成員は、地区内で活動している「上台産直センターとりーむ」の運営主体である大興寺農産物販売組合の構成員9名全員で、本来の産直業務に加えて農業生産へも進出することになりました。

大興寺農産は産直組織が核となっている珍しい事例であり、「水稲の機械集約によるコスト低減と共同作業による労働力を集約して、余った労働力を野菜栽培に振り向け、生産した野菜を産直で販売し収入増をめざす。」ことを農業経営の方針に掲げております。現在、運営体制づくりと産直との合併の手続きをすすめており、生産から加工品の製造・販売など経営の多角化に取り組み、初年度は20畝の水稲生産からスタートすることになりました。

産地直売施設の活動が法人化を後押し



転作農地の風景

同地区は上台大通地区基盤整備事業（南寺林、中寺林、大興寺、松林寺）を契機に、平成10年に転作の受け皿組織として60人で上台大通農業生産組合を設立して、大豆、ハトムギやソ



蕎麦屋



手がけるそば製品

現在、蕎麦屋は休業中ですが、10月の玄そばの生産と加工品販売を目標に地域内で20畝のそばを栽培し、加工品を製造・販売することにより産地化をはかる構想となっています。

そば粉のメッシュが微細な「松林寺そば」および「冷凍そば」は喉ゴシがよいとの評価を得ており、昨年から「冷凍そば」は大手百貨店のお中元商品としてご利用いただけていますが、販売先が限定的で販路の開拓が課題であることから、マッチングフェア等に積極的に参加しようと考えています。



TAC活動

を得て実践されてきました。農政の大転換の時期にあつてリスクを負ってでも新たなことに挑戦しようとする姿勢を、評価させていただきました。

今後、コーディネーターやアドバイザーとのパートナーシップを強められ、時代の変化に柔軟に対応した独自の経営スタイルの構築と、法人設立の目的が達成され地域が発展されますことをご期待申し上げます。

農事組合法人大興寺農産の概況

- 代表：代表理事 菊池源二（70歳）
- 設立：平成27年2月24日
- 所在地：花巻市石鳥谷町大興寺14-4-3
- 組合員：9人
- 経営面積：平成27年計画 20ha（水稲20ha）
- 施設機械：事務所1棟（上台産直センターとりーむ内）

2014

これからも「純情産地いわて」を応援します！

いわて純情むすめ卒業

パステルブルーの衣装で元気いっぱい素敵な笑顔。

「純情産地いわて」のPRに全国を飛び回った2014いわて純情むすめは今月末で卒業を迎えます。1年間、本当にお疲れ様でした。



佐藤 真美

純情むすめとして活動したこの1年間は本当にあっという間でしたが、おかげ様で貴重な経験をすることができました。国内外のPR活動の中で感じたのは、いわての農畜産物が皆様に愛されているということです。また、私も改めていわての農畜産物は素晴らしいのだと実感することができました。純情むすめを辞めてしまうのは正直とても寂しいです。これからは違う形でいわての農畜産物を応援していきます。1年間という短い間でしたが、関わってくださった全ての方に感謝いたします。本当にありがとうございました。



工藤 恵衣

この1年間を振り返るととても毎日濃くて充実していました。最初の頃は歌や踊り、販売など初めてのことが多すぎて戸惑いや十分に動くことができず悔しい思いもしました。ですが、活動する中でお客様から温かい言葉をたくさん頂きそれがとても嬉しくて頑張ることができました。そして販促活動やステージでのミニライブ、海外での活動などたくさんの体験を重ねて自分自身強く成長できました！生産者さんとも交流でき、岩手の農畜産物の事を活動を通して改めて学ぶことが出来て、もっと岩手が大好きになりました（^_^）純情むすめとして新しい仲間と一緒に活動できたこの1年間は私にとって大切な宝物です☆この素晴らしいさを皆さんにも体験して欲しいなと思います！



佐藤 里沙子

認定からもう一年が経つと思うとこの一年はあっという間だったなと感じます。いわて純情むすめとしていわての美味しいを全国に伝えるぞと意気込み、様々な活動をしてきました。なかなか魅力を伝えられず悔しく思うこともありましたが、いわてが好きになったと言っていただけのこともあり、とても嬉しい気持ちになったこともあります。そんな純情むすめの活動も終わりを迎えてしまいます…。さみしいですが、とても有意義な期間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。



四戸 藍

この1年間は、21年間生きてきた中で最も多くの出会いがあった1年間でした。活動する中で、今まで岩手に住みながら知らずにいた、岩手の農畜産物の魅力を沢山知ることができました。全国各地で岩手の農畜産物は愛されていること、そして世界でも同様のものだということを、目で見、肌で感じるものが出来、とても誇らしく思っています。岩手の冷涼で豊かな風土、あたたかい県民性の良さを改めて実感できました。そしてこれらは岩手が自信を持って全国、世界にもっともっとアピール出来る点なのだとお伝えしていきたいと思っています。岩手を誇りに思えた素晴らしい1年間でした、皆様応援ありがとうございました！！



橋本 和香奈

いわて純情むすめに選抜されてから早いもので、一年が経ちます。長いようで短かった活動は、とても充実したものでした。販売促進活動やラジオ、ステージ活動など、普段の生活であつたらとても体験のできない貴重なものばかりでした。岩手だけでなく県外での活動も多く、たくさんの方々に岩手の魅力をお伝えすることができました。一年間純情むすめとして活動したおかげで、岩手により愛着が湧き、より好きになりました。活動を通して、岩手の農畜産物の素晴らしさを実感し、全国各地に情報発信できたことは、誇り高い経験になりました。

今年も田植シーズン到来！県内各地の田植えイベント

5月16日(土)

いわてのまんま田植えツアー

JA全農いわて米穀部はJA岩手ふるさととライスフレンド株式会社と共同で田植え体験イベントを開催しました。

イベントには関西販売店のバイヤーと生産者やいわて純情むすめが参加し、JA担当者の指導を受けながら田植え体験をしました。

このイベントは平成10年からはじまり本年で18年目を迎えます。栽培されたお米は収穫後、「岩手のまんま」として近畿圏のスーパー、量販店、生協、米穀店で販売されます。



5月20日(水)

ABCクッキングスタジオ「恋するおコメ」田植え体験

JA全農いわて米穀部はJAいわて中央と、ABCクッキングスタジオ女性会員を対象とした田植え体験をおこないました。

このイベントは、普段のレッスンで使用されている岩手県産ひとめぼれが育つ気候風土を、実際に田植えをしてもらうことで感じてもらい、産地理解を更に深めてもらうために実施されています。

参加者は裸足での田植に歓声をあげながらも、豊作の願いを込めながら苗を植えていました。



5月21日(木)

生活協同組合ユーコープ「茶美豚」飼料用米田植え体験

JA全農いわて米穀部、畜産酪農部はJAいわて花巻などととも、ユーコープ事業連合の「茶美豚」での飼料用米の取り組みを展開しています。この度、組合員らが花巻市湯口の圃場を訪れ、手植えによる田植え体験がおこなわれました。

飼料用米への取り組みは、水田の有効活用・国産飼料活用による自給率向上に貢献することを目的に、新規需要米として年々拡大しており、循環型農業として、日本の農業、畜産振興に貢献していきます。



5月22日(金)

渋民小学校田植え体験

盛岡市玉山区渋民の圃場では、盛岡市立渋民小学校5年生が田植え体験をおこないました。

この田植え体験は、JA全農いわてとJA新しいわて、イオンスーパーセンター(株)が共同で主催しており今年で7年目になります。

初めての田植えの生徒も多く、足を取られながらも一生懸命に作業を行いました。秋には稲刈り体験も予定されており、米づくりの面白さや大変さを1年間かけて学んでいきます。



編集後記

天気の良い日が続き、外でおこなうイベントなどでは人で賑わっていますね。外で遊べる機会が増えて個人的には嬉しい限りですが、農業にとっては適度な雨が必要不可欠。私の休みの日以外で雨が降り！と心の中で祈っております(笑)

さて、昨年ご好評いただきましたミニテレビ

番組「アグリカルチャー」の第2弾の撮影が始まりました。今年も県内の若手農業者の方々に出演いただき、農業の魅力ややりがい、かつこよさをお伝えしていく番組となっています。昨年のものに負けない魅力的な番組をめざして、スタッフ一丸となって撮影に取り組んでおります。皆様お楽しみに!! (岩本)

岩手からプロ野球選手を、プロOBが指導

5月16日(土)

JA全農WCBF少年野球教室 滝沢教室

一般財団法人世界少年野球推進財団(WCBF)は滝沢総合公園野球場で、県内少年野球とその指導者や保護者を対象としたJA全農WCBF少年野球教室を開催しました。岩手県での開催は6年ぶり3回目。

滝沢教室の講師には横浜OBの駒田徳広さん、巨人OBの屋鋪要さんなど4名のプロ野球OBが参加。午前中は走塁や投球の基本の他、ポジションごとに分かれての指導、午後はバッティングの指導がおこなわれました。バッティングを指導した駒田さんは「常にバッターボックスに立っているイメージをもって素振りをおこなうことが上達への近道」と、自信の体験を交えながら指導をおこないました。野球指導の他には、プロトレーナーによる指導者講習会や管理栄養士による栄養学教室も開催され、成長期の子供たちの体へのケアも指導されました。

また、野球教室参加者には協賛各社から国産農畜産物がお土産と



熱心にバッティングを指導する屋鋪講師

して提供され、JA全農いわてからは、岩手県産ひとめぼれバックご飯やいわちく加工品の他、お昼にはヨーグルトが配られました。講師の屋鋪さんは「食事は練習と同じくらい大切。JAの美味しい農畜産物を沢山食べて元気な体を作ってください」と参加者に話しました。

JA全農は全国で開催されるこの野球教室に特別協賛しており、食を通してこどもたちの健やかな心身の成長を支え、スポーツに打ち込む子供たちの将来の夢を応援します。



講師陣へ、いわて牛といわて純情米ひとめぼれが贈られました

『純情野菜』の本格出荷に向けて

5月25日(月)

平成27年度いわて純情野菜販売対策会議

JA全農いわて園芸部は花巻市内のホテルで、平成27年度いわて純情野菜販売対策会議を開催しました。会議には、JA担当者、生産者、重点市場関係者、行政機関など85名が出席。事業方針や販売対策などを話し合いました。

本会はこれまで、「生産基盤の強化・拡充」、「生産者収益の安定確保」、「オールいわて」としての販売戦略構築による販売力の強化の3つの基本方針のもと、「第2次園芸産地確立計画(25～27年度)」に取り組んできました。平成27年度は、販売数量77,200トン、販売額170億円を目標に、生産、流通、販売関係機関が連携して、「純情産地いわて」の指定席確保をめざします。



目標達成に向けた具体策が提案されました

『いわて純情豚愛海』が最優秀賞に

5月1日(金)

第13回銘柄ポーク好感度コンテスト最優秀賞受賞への感謝状授与式

4月に東京ビックサイトでおこなわれた「2015年食肉産業展」の特別イベント「第13回銘柄ポーク好感度コンテスト」で最優秀賞を受賞した関係者への感謝状の授与式が、岩手県産業会館でおこなわれました。

授与式には、岩手県本部の小原俊英副本部長、(株)岩手畜産流通センターの村川健一社長をはじめ、農事組合法人八幡平養豚組合の阿部正樹組合長ら関係者が出席し、村川社長より肉豚生産農場である農事組合法人八幡平ファーム・八幡平洋野牧場に感謝状が授与されました。

『いわて純情豚愛海』は岩手県洋野町に位置する八幡平ファーム・八幡平洋野牧場で生産・肥育され、(株)岩手畜産流通センターが「と畜から品質管理」までおこなっているオリジナルブランド豚肉で、鮮やかな桃色の肉質はきめ細やかでやわらかく、くちどけがあっさりとしているのが特長です。

「銘柄ポーク好感度コンテスト」の評価基準は、見た目と食感、食味の3項目。全国から知名度の高いブランド豚が出品されましたが、その特長が評価され見事「最優秀賞」を受賞しました。



2015 オールいわて

農業機械

フェア

6/12(金)13(土)

とき/AM9:00~PM4:00(最終日はPM3:00まで)
会場/JAいわて花巻 本店駐車場特設会場

ご来場の方に
受付にて、
もれなく花の苗
プレゼント!

◎水田フル活用(排水対策)
特設コーナー

◎農作業効率化提案
(規模拡大、ICT、野菜作機械・作業機)



イベント クロスワードパズルに
答えて豪華景品を
ゲットしよう!



【主な展示内容】

水田フル活用のための機械化提案
作業効率化のための作業機、野菜作機械
鉄コーティング・レンタル機展示
JAグループ独自型式・おすすめ型式
排ガス規制対象機
中古農機展示コーナー
各社農業機械、フォークリフト、
リース、信用相談、農作業安全啓蒙
各種資材、肥料・農薬の展示



主催/ JA いわてグループ・JA 全農いわて



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 総合企画課
JA 全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145
<http://www.junjo.jp>

